

承認番号	2020-045
研究課題名	前置胎盤症例における周産期予後の検討
研究の意義・目的	前置胎盤は子宮口に胎盤が覆いかぶさるため帝王切開の実施が必須ですが、産後の母体出血が多いことが最大の問題です。妊娠中の出血が多い場合には早産時期での娩出が必要になったり、子宮手術の既往や不妊治療での妊娠例では子宮摘出も必要となることがあります。母児のリスク因子を明らかにし学会や論文で公表することで周産期医療に役立つ情報を発信していきます。
研究を行う期間	承認後～2026年12月31日
研究対象者の範囲	2009年1月1日～2025年12月31日に大阪市立大学医学部附属病院の女性診療科で、前置胎盤の診断のため周産期管理されたされた方が対象です。
お願いする内容	大阪市立大学医学部附属病院のみで研究いたします。  既存の情報（診療録データ、検査データ、画像データなど）を研究に使用しません。
頂いた試料・情報の提供方法	該当しません。
頂いた試料・情報の管理について責任者	女性生涯医学 准教授 橘 大介
この研究を行っている施設（共同研究機関）	女性生涯医学 准教授 橘 大介
代表施設のURL	<a href="http://www.med.osaka-cu.ac.jp/obandg/">http://www.med.osaka-cu.ac.jp/obandg/</a>
研究の成果を公表する方法	学会や論文で公表します。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への参加を拒否できます。また、研究への参加を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市阿倍野区旭町 1-4-3 大阪市立大学大学院医学研究科女性生涯医学 窓口：橘 大介 メール：obnandg@med.osaka-cu.ac.jp, 電話：06-6645-3862